

□議員名：松尾数則

1 市民病院事業改革プランについて

論点	市民病院の果たすべき役割について聞く。
回答	地域の中核病院としてセカンドオピニオン外来、助産師外来、疼痛外来を設置し、近隣病院の補完的役割についても対応している。退院についても患者の病状、家庭環境等を考慮し退院時を決める等公益的役割についても考慮している。DPC 制度の導入は考えていない。

論点	地域包括ケアシステムについて聞く。
回答	地域包括ケア病棟は急性期や緊急時の患者を受入れ、在宅、復帰支援を行うもので一昨年から急速に浮上した内容で市民病院設計時には提唱されておらず現在の市民病院においては難しい。市民病院では介護保険事業と整合性を確保し、緊急時の一時入院に必要な後方病床の確保等積極的に在宅医療の支援を行う。

論点	病院の経営合理化について聞く。
回答	人員配置と業務の効率化を勘案して委託化の推進、長期継続計画や業務内容の見直し、契約の適正化、材料や消耗品の価格交渉による経費の軽減を図る。常に合理化を図り、安心安全な医療環境を目指したい。

2 地域医療の充実について

論点	山陽小野田市内の医師、診療所の偏在について考えを聞きたい。
回答	日本全体で、県内においても医師の偏在は多く、憂慮している。経営的に成り立たないと開業が難しいのではないかと推察している。市民病院において人的支援できる余裕はない。

3 崖崩れ予防対策について

論点	島根県邑南町の崖崩れ死亡事故を受け危険区域の点検は行ったのか。
回答	市道において警戒標識は13か所設置されている。降雨等状況を考慮し、随時パトロールを行っている。即時崩壊性がある場所はない。

論点	崩落防止策について危険区域内の住民に対して助成制度は無いのか聞く。
回答	通常事業としては県主体事業として、崖高、関係人家により異なる災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業がある。山陽小野田市の小規模急傾斜地対策事業としては県費補助を受けながら受益者負担を伴う事業がある。

4 文化財保護について

論点	観光マップはあるが文化財マップの作製は難しいのか。
回答	観光協会発行の紙ベースでの観光マップに指定文化財の場所と写真を掲載している。市のホームページに指定文化財等、ふるさと文化遺産を掲載しており紙ベースでの文化財マップは考えていない。

論点	高齢化が進み、文化財の保存・維持管理が困難になっている。今後の管理手段について聞く。
回答	屋外にある古墳等の有形文化財については除草等、保護と景観維持には管理が困難であることは認識している。文化財の維持管理は原則所有者が行うことになっているが、一部は地元自治会、老人クラブの協力により実施している。

論点	学校教育において郷土を愛するといった意識を持つことが市の文化財の保護に役立つのではないかと。
回答	市では学校の副読本により国、県、市の指定文化財を載せ、現地の確認を含め公民館での歴史講座等を通じ貴重な文化財を守る教育活動を行っている。